



大井町議会だより

2019. 8. 1 No.200

ひたろう

議会報告・意見交換会	2
3日間4会場で開催 86人の来場	
第2回定例会	5
一般質問 ここが聞きたい(9人)	8
議会を傍聴して	12
第200号記念「議会だよりの変遷」	14
町のこの人あのひと	16

相和地区の活性化を目指して

瀬戸 勇さん



ふれあい活動に参加する中学生

E-mail gikai@town.oi.kanagawa.jp / URL <http://www.town.oi.kanagawa.jp/gikai/>

この広報は、再生紙を使用しています。

議会報告会・意見交換会開催

議員定数と報酬について意見を伺う

この議会報告・意見交換会は大井町議会基本条例に基づき「開かれた議会・町民の皆様と共に歩む議会」を目指して3日間4会場で開催し、86人の参加がありました。

今回の報告会は予算審査状況など議会としてどのような取り組みをしたか、また各委員会の委員長から今後の活動目標などの説明を行い、皆様からの質疑を受けました。会場ごとの主な質疑内容は次のとおりです。

JAかながわ
西湘大井支店

5月15日（水）実施

問 会議録をホームページに載せることについてはどうなったか。

答 3月議会の分から載せられるよう現在調整中。

問 本会議、施政方針、予算委員会も載せてほしい。

答 本会議は載せていく。委員会に関しては今後検討する。

問 子どもの虐待について町の対応は。

答 要保護連絡協議会等で慎重に取り組んでいる。重大な事案は出ていないと聞いている。

問 中学校の空調設備は終わっているか。また、グラウンドの芝生化は。

答 中学校は終わっている。芝生化は町長も掲げているが今年度予算化は見送った。グラウンドの整備については今後の課題。

意見 本当に芝生化がいいのか、しっかり調査してほしい。

問 小児医療費の予算が8,039万円、所得制限なしだが、この状態が続いていくのか。

答 所得制限は平等という意味でつけていない。年齢が上がるほど医療費はかからないと考える。

問 御殿場線のICカード利用についてしっかり取り組んでほしい。

答 議員連盟を結成し要

望活動をしている。今後
も取り組んでいく。

テーマ「議員定数と報酬」
について

問 人口における議員の割合はどうか。

答 他市町の状況を見ると人口にばらつきはあるが、一般会計からみた議会費の割合は近隣市町と同じようである。

問 へたに減らす必要はない。議員が何をしているか分からないから減らせと言われる。活動内容をもっとPRすべき。

答 期待していただいていると受け取り、しっかりと活動していく。



JAかながわ西湘大井支店

意見 投票率が落ちたら民主主義では無い。常任委員会が4つなら議員は多いのではないか。何をしているのか、内容で人数が決まると思う。

意見 近隣の状況は山北14、中井12、開成12、松田12だが減らすのは簡単。定数14を2減すると2人分の意見が減ってしまう。人の力は大きい。現状維持が良いのでは。もっと委員会活動を活発にしてほしい。

問 議員報酬は当選回数によって変わるのか。

答 報酬は何回当選しても同じ。

そうわ会館

5月16日（木）実施

問 神奈川大井の里観光協会設立について審議の際、議会としてどのような期待と懸念の意見があったか。

答 予算審査で一番時間をかけた。出資金として補助を出しても4年目に黒字化する計画だが、本当にできるのか心配だと懸念する意見が多数あった。また、相和活性化活動を進めていくには受け皿となる組織は必要と法人設立には多数の議員が理解を示した。

問 町民体育大会は選手集めに苦労している。町に対して議会では意見を言っているのか。

答 予算審査時には従来通りとの事で質問はあまり出なかった。町長も変わったので注視していく。

意見 農村民泊は相和地区だけではできない。議員の皆さんも民泊の受け入れに協力してほしい。

問 国民健康保険や介護保険などの保険給付費が高騰しているが、病気になる方策について何か考えているか。

答 大井町はおーい元気の開催や社協などが事業を行っているが、健康に結びついていくか良くわからない。大井町の国民健康保険や介護保険は利用者が少なく、保険料等が県下でも下位だ。

問 都市計画道路金子開成和田河原線の事業内容についてもう少し説明してほしい。

答 町道であるが大きな事業のため工事は県が施行してくれる。付随した部分の買収等は町が行う。

テーマ「議員定数と報酬」について

問 財政が厳しくなる中で定数削減と報酬を下げた方が良いと思う。このテーマにしたのはなぜか。

議長 議長として議会運営委員会に議員定数や報酬について検討するよう諮問した。

にあったように議員数が少なくなると委員会活動に支障があるとの話などから考えると、現状で良いのではないか。

意見 現状が良いかどうかかわからない。もう少し議員の活動状況などを説明してもらわないと判断できない。

意見 報酬は他町と比較して変わりないので、現状で良いのではないかと。また、もっと働いてくれる議員にはもっと上げて良いのではないかと。

問 議員の年間活動日数はどの位か。

答 議会・委員会への出席が年間150日ぐらい。それ以外に自宅などで勉強、資料作り、町民からの要望などを調査したり、町民の皆様には見えていない部分も非常に多い。

意見 現状の報酬は安いと思う。妥当かどうかは分からないが他町と比較しても高くない。何でも

かんでも下げれば良いというものではないと思う。

問 見直しのスケジュールと町民への広報は。

答 議長よりの諮問に対し5月中には委員会より答申する予定。その後、議長が特別委員会等を設置し検討するか、本会議で決めていくなどいくつかの方法があり、来年秋にある選挙に間に合うようなスケジュールとなっている。

生涯学習センター

5月17日(金) 実施

問 年号が令和ではなく、平成で表している理由は。

答 年号が代わったばかりなので、間違いを防ぐためである。

問 議会だよりをいろいろなお店に置いてほしい。

答 予算の関係もあるの で検討課題としたい。

問 昨年と比較しても子育ての事は実行されていない。陳情の件もいくつかプッシュしてほしい。

答 陳情の件は、町長も変わったので、さらにプッシュしていきたい。

問 湘光中のグラウンド整備は、どの様な内容で進んでいるのか。

答 グラウンド整備は今年度予算で予定をしたが、猛暑への対応で空調設備設置工事を前倒しにしたため見送った。町長の公

問 議員定数、報酬に関して調査研究を6回行ったとの事だが、内容を教えてほしい。

答 資料の作成、定数、議員報酬、政務活動費等の調査検討をしてきた。

意見 卓上配布のみの陳情書も、どの様な内容の物が出されたか町民にも分かる様にしてほしい。

問 自治会担当制度の進捗状況はどうなっているのか。

答 5月20日の議会全員協議会で、詳しい説明がされる予定である。

*7月1日から、制度を開始する。各自治会に担当職員を2〜3名配置するとの説明があった。

テーマ「議員定数と報酬」について

問 議員定数のことを知らない人もいる。奇数は良くないと聞くが、定数の決め方について教えてほしい。

答 大井町の定数は14議席。議長は採決に加わらないので、同数割れがなく決めやすい。

問 議員の年間活動日は何日あるのか。

答 業務として年間150日くらいはある。

問 町民とコミュニケーションを取る時間は定型業務と比較してどのくらいの比率があるのか。

答 議員により町民との接触時間・方法が違い、

明確な回答は出来ない。

問 議会報告会の回数、場所、公聴会を検討して見てはどうか。

答 今後、検討をしたい。

西大井自治会館
5月17日(金) 実施

問 町道391号線道路認定の質疑答弁の内容を教えてください。

答 自治会長に話したと聞いた。湘光中前から公園までの道路の改修工事を行うため道路認定した。今年度歩道部分、来年度道路部分を改修すると聞いている。

問 農道に大型の工作機械が通れない状況がある。改良改善が進まない。企画経済常任委員会でも活動の中に取り上げて欲しい。

答 耕作放棄地を減らすなどの考えのもと常任委員会で農業を取り入れた。

事実関係の確認

昨年、町から前年度の自治会長3人で道路について説明を受けた。その際は、どのようになるの

の話はなく、自治会の要望として現状のままにして欲しいと話した。第一生命の道路については決まったら話をするのとこのだった。

問 幼稚園、保育園が10月以降どのように変わるのか。

答 幼児教育の無償化が10月から始まる。保育料は無償、給食費は自己負担と聞いている。

問 児童・生徒の生活習慣や学力調査の実態調査等は、良い調査項目である。実態調査の充実を図って欲しい。

答 欠食の問題は家庭での課題が、スマホは4年生で8時間使用は問題と考えている。調査研究し提言したい。

問 町の活性化として、フエイジオアを売り出しているがスーパードで見かけない。大井町にあった特産品を研究して欲しい。

答 町として特産品として育てたが、現在あまり見

調査研究し提言したい。

意見 「地酒で乾杯条例」をどのように活かしていくのか議会でも考えて欲しい。

意見 町おこし商品として商工振興会が開発したこういうものを作って欲しいと提案して欲しい。

意見 4月28日に行われたイベントでは、同日、ビオトピア、ふれあいの広場の2か所で行っていた。町の姿勢が不明である。教育関係では、大井町の子どもたちでNo.1になっているところがない。ひょうたん祭りは、町民が楽しむ祭りになっていないのではないか。

問 町広報では提案等気軽にどうぞとしている。この提案意見について議会内で話し合うことはあるのか。

答 町へ提案なので議会の中で議論することはない。

テーマ「議員定数と報酬」について

かけなくなっている。これに代わるもの等を含め調査研究し提言したい。

意見 町おこし商品として商工振興会が開発したこういうものを作って欲しいと提案して欲しい。

意見 4月28日に行われたイベントでは、同日、ビオトピア、ふれあいの広場の2か所で行っていた。町の姿勢が不明である。教育関係では、大井町の子どもたちでNo.1になっているところがない。ひょうたん祭りは、町民が楽しむ祭りになっていないのではないか。

問 町広報では提案等気軽にどうぞとしている。この提案意見について議会内で話し合うことはあるのか。

答 町へ提案なので議会の中で議論することはない。

テーマ「議員定数と報酬」について

問 市町の議員数の違いは。

答 議員一人当たりの人口は、大井町1,225名、中井町788名、松田町912名、山北町742名、開成町1,480名である。大井町と山北町は14名。その他の町は12名である。議長からの諮問で、議員1人当たりの人口、面積当たりの議員数、議会費の中の議員費、一般予算に占める議員費等を研究している。議員の報酬は、上郡では25万円、27万円、大井町は25万7千円である。議会活動の中で定数が少なくなると委員会活動が難しくなってくる。議会運営委員会の中で議論しており、6月定例会前に議長に答申したい。

意見 開かれた議会、町民に愛される議会を目指していると理解し、若者が立候補しない点、議員を専業する場合、今の報酬では難しいのではない

開かれた議会、町民に愛される議会を目指していると理解し、若者が立候補しない点、議員を専業する場合、今の報酬では難しいのではない

開かれた議会、町民に愛される議会を目指していると理解し、若者が立候補しない点、議員を専業する場合、今の報酬では難しいのではない

開かれた議会、町民に愛される議会を目指していると理解し、若者が立候補しない点、議員を専業する場合、今の報酬では難しいのではない

開かれた議会、町民に愛される議会を目指していると理解し、若者が立候補しない点、議員を専業する場合、今の報酬では難しいのではない

開かれた議会、町民に愛される議会を目指していると理解し、若者が立候補しない点、議員を専業する場合、今の報酬では難しいのではない

開かれた議会、町民に愛される議会を目指していると理解し、若者が立候補しない点、議員を専業する場合、今の報酬では難しいのではない

開かれた議会、町民に愛される議会を目指していると理解し、若者が立候補しない点、議員を専業する場合、今の報酬では難しいのではない

開かれた議会、町民に愛される議会を目指していると理解し、若者が立候補しない点、議員を専業する場合、今の報酬では難しいのではない



西大井自治会館

第2回 定例会

新字名「大井中央」に決まる

令和元年第2回定例会は6月5日から7日までの3日間を会期として開催され、条例や字名の設定・人事案件・契約・選挙をはじめ、補正予算等を審議いたしました。

初日は、監査委員より定例監査報告があり、陳情は4件ありましたが卓上配布となりました。

また、2日間にわたり行財政全般に及ぶ一般質問を9人が行い、町・教育委員会及び選挙管理委員会の考えを質しました。

条例

大井町総合計画審議会条例の一部を改正する条例（賛成全員）

＊次期総合計画の策定運用にあたっては、総合戦略とあわせ、金融・言論分野の委員を3名増員し、幅広く意見を聞くため。

固 当初予算に17名の報酬が計上されている。条例の出し方として問題で

ある。
答 本来なら3月に条例案を提出すべきであったが失念していた。

問 3月に予算計上し改正条例は6月に提出し、失念したでは済まされない事では。
答 詫びるしかない。大変申し訳ない。

問 町長が選任するメンバーが多くなる、町民に分かり易い人選を心がける必要は。
答 金融分野2名、言論分野1名を増員し合計17名で幅広く町民の意見を聞いていきたい。

大井町税条例の一部を改正する条例（賛成全員）

＊地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、固定資産税と軽自動車税の特例関係を改正。

大井町国民健康保険条例の一部を改正する条例（賛成12・反対1）

＊地方税法の改正に伴い基礎課税額等の改正。

問 該当世帯は、税収に影響は。
答 前年の課税での算出では、4世帯26万円減となる。

大井町介護保険条例の一部を改正する条例（賛成全員）

＊10月からの消費税改正に伴う変更で低所得者における保険料の軽減強化措置に伴う改正。

問 国は9段階、町は10段階であるが。
答 国は9段階、町は10段階であるが。

答 町は段階を多くして、低所得者に対しては安く、高い方には相応の負担をしていただいている。

大井町公共下水道事業の地方公営企業化に伴う関係条例の整備に関する条例（賛成12・反対1）

＊令和2年度より地方公営企業法全部適用するため、関係条例の改正と必要な文言を整理する。既存の下水道事業特別会計条例は廃止する。

問 企業会計になった場合、職員の数に変更は。
答 変更なし。



字名が変更になる
区画整理事業区域

問 打ち切り決算は。
答 3月31をもって打ち切り決算をする。未収金や未払金は令和2年度の企業会計に引き継ぎ、当初予算に計上する。

字の区域の変更及び新たな字名の設定（賛成全員）

＊大井中央土地区画整理事業の施行に伴い、金子地区の字の区域を変更し、新たな字名を設定する。

問 歴史を考え、字名を決める意見はあったか。
答 歴史的な字名を残す等の意見は認識していない。自治会は既存の自治会とする。

問 既存住者の字名変更に伴う支援事業は。
答 役場・法務局関係は職権で行われる。免許証等は個人で手続き、組合より詳細説明がある予定。町は出来る限り丁寧な対応をする。

補正予算

一般会計（第1号）
（賛成12・反対1）

＊歳入・歳出で、消費税関連やプレミアム付き商品券と、幼児保育無償化に伴う増額と関連費用など。

問 プレミアム商品券関連の明細は。

答 非課税世帯と3歳未満の子育て世帯の2,650名が対象。500円券10枚綴り、5セットまで購入できる。使用期間は10月より6か月。周知は直接郵送と町広報で。総事業費は7,481万5千円となる。

問 予防接種事業費内容は。

答 風疹対策事業で対象者は、昭和37年4月2日生まれから昭和54年4月1日生まれまでの男性。周知は町広報とクーポン券を発行し個人に通知。受診者244人を見込む。

問 公園トイレ建設工事監理業務委託料は。

答 工事費計上時、漏れたので今回計上した。

問 赤田旧8分団詰所改修費52万3千円は。

答 エアコンの設置、電気設備の改修など、建物と車庫を改修する。駐車場は含まない。

問 郷土資料館の1階を賃貸していた事業者が移転するために、旧8分団の改修を公費で支出することは妥当か。

答 旧8分団を有効活用するため。有償で賃貸するに当たり最低限の改修が必要である。

問 郷土資料館にいた事業者と町は賃貸契約を結んでいたのか。賃貸するスペースがあったのか。

答 賃貸契約をしていた。郷土資料館は行政財産であり、一階部分を余剰財産として貸していた。

問 お山のギャラリーは条例で規定している。公

施設をある段階で独占的に使わせることが条例と齟齬していないか。条例を改正すべきである。

問 法に沿い貸出している。これから入る法人も相和の活性化に向けて町が大幅に力を入れている団体である。今までやってきた手続きの確認はもう一度させていたか。

答 賃料はどの様に設定したか。

問 1日500円、1週間2,500円、8分団詰所跡も踏襲する。5年位で回収できる。

介護保険（第1号）
（賛成全員）

＊10月からの消費税導入時に、低所得者に対する保険料の軽減措置に対応するため。

＊任期満了となるので再度選任提案。

井上 仲治 氏
（再任 西大井）

＊人事議案書の事前配布について。

問 人事案件については議会より事前配布の検討を申し入れていたが。

答 検討して欲しいとの要望と受け止めており、今回は従来どおりとした。

人事

大井町副町長の選任について同意を求めること
（賛成11・反対2）

工事請負契約の締結

平成31年度防災行政無線（同報系）デジタル化整備工事
（賛成全員）

＊予定価格を3億1,194万円とし14業者を指名するも8業者が辞退、6業者による入札の結果、（株）日立国際電気公共ソリューション事業部が1億7,064万円で落札したため、契約締結の承認を求めるもの。

問 個別受信機の導入時期、費用負担は。

退者が多くなっていると思われる。低入札調査が行われ、大きい企業などでグループ内で部品等を調達するので低価格が実現した。

問 令和2年度を予定。個人所有の受信機は無償で交換する。新たに購入される個人には決まっていなかったが負担はしていたか。

平成31年度大井小学校北棟改修工事
（賛成全員）

問 防災無線切替工事のため聞こえなくなる期間はあるか。

＊予定価格を1億6,541万円とし12業者を指名するも1業者が入札書不着、4業者が辞退、7業者による入札の結果、松浦建設（株）が1億2,283万円で落札したため、契約締結の承認を求めるもの。

問 指名入札14社中辞退業者が8社あり、落札率も54・7％である。町の考えは。

答 全国同時期に整備が計画されている状況で辞



無償交換が予定されている個人所有の個別受信機

第2回定例会・審議結果

平成31年度総合体育館空調設備改修工事及びLED設置工事
(賛成全員)

*予定価格を1億2,098万円とし11業者を指名するも3業者が入札書不着、4業者が辞退、4業者による入札の結果、(株)根布工業が9,439万円で落札したため、契約締結の承認を求めるもの。

問 空調設備とLED工事を別にすれば地元業者が参入できるのでは。
答 補助金の関係と、同時にを行うのが効率的である。

選挙

小田原市外二ヶ市町組合議会議員の選出について
(賛成全員)

*任期満了に伴う後任者の選出。

橋本 一男 氏
(新任 西大井)

審議した議案と審議結果

○は賛成 ×は反対
細田勝治議長は、採決に加わりません。

臨時会の別 定例会・ 臨時会の別	議案 番号	議 案 名	議員名（議席順）と 審議結果												審 議 結 果
			鈴木 磯美	田中 正彦	神保 京子	田村 俊二	牧野 一仁	熊田 和人	清水 亜樹	伊藤 奈穂子	曾根 田 徹	瀬戸 和雄	北村 正夫	清水 豊司	
第3回定例会	29	大井町総合計画審議会条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	30	大井町税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	31	大井町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
	32	大井町介護保険条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	33	大井町公共下水道事業の地方公営企業化に伴う関係条例の整備に関する条例について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
	34	字の区域の変更及び新たな字名の設定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	35	令和元年度大井町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
	36	令和元年度大井町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	37	大井町副町長の選任について同意を求めること	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	同意
	38	工事請負契約の締結について (防災行政無線(同報系)デジタル化整備工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	39	工事請負契約の締結について (大井小学校北棟改修工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	40	工事請負契約の締結について (総合体育館空調設備改修工事及びLED設置工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

運転免許自主返納への取組みは

答 今後、周知等に取り組んでいく

清水 亜樹 議員



問 この地域では、運転免許証がないと不便だが、命にかかわる大きな問題だと思う。返納への呼びかけや返納後の支援、優遇などがあることを周知していく必要があると考えるが。

防災安全室長 現在、町として自主返納への呼び掛け等の取組みはしてい

ないが、今後周知等に取り組んで行きたい。

氏名	〇〇 〇〇〇	昭和〇年〇月〇日生
住所	〇〇県〇〇市〇〇〇 123-45	
交付	〇〇年〇月〇日	
運転経歴証明書 (自動車等の運転はできません)		
第 1234567890 号		
〇〇年〇月〇日	〇〇年〇月〇日	〇〇年〇月〇日

自主返納を申請すると交付される運転経歴証明書

【相和ブランド】

問 観光拠点としている、ゆめの里の整備は、ゆめの里育て隊が多くを担って頂いているが、倒木等の不備も目立つ。業者による整備をしていく考えは。

地域振興課長

現在は業者等に委託して整備をする計画はないが、安心して散策ができるよう早急に検討していきたい。

四季の里の指定管理者制度導入の考えは。

地域振興課長 導入する方向で考えていきたい。

問 相和小学校の通学に對しての支援を考えているのか。

教育長 地域交通のあり方等も含めた中の一つとして考えている。

【総合体育館】

問 総合体育館で雨漏りが発生しているのか。

生涯学習課長

アリーナなどに雨漏りがある。

町長

調査等を行い、それに基づいた予算措置等を行っていく。

柔剣道場に空調設備を設置する考えは。

町長 総合的な見地から判断して整備を検討する。

都市計画道路工事での安全対策は

答 県警と協議して、交通安全対策を講じる



曾根田 徹 議員

問 施行ヤードを買収後の、工事開始時での安全対策、説明会について伺う。

都市整備課長

施行ヤード付近、都市計画道路工事関係の説明は行いたい。時期については、計画が確定した時点で説明をする考えである。

道路工事にあたり、安全対策として通学路を変更しないといけないと考えるが、町の考えは。

都市整備課長 安全な迂回路を町と学校、教育委員会等で協議し決めていきたい。県には、町の考えをしっかりと示していきたい。

【交通安全対策】

問 運転免許証を自主返納した人が受けられる支援、特典への考えは。

防災安全室長

高齢者運転免許自主返納サポート協議会に加盟している企業は町内には紳士服の1社で、制度があるという

周知はしていく考えである。

問 運転免許経歴証明書を申請する人に、手数料の補助をする考えは。

防災安全室長 安心して自主返納が出来る体制を作り、その後、支援等が必要であれば推進して行きたい。

【グラウンド整備】

問 教育環境整備の優先度は低いとしているが、今後の検討は。

町長

整備の手法、時期、財源確保等、総合的な判断から整備を進める考えである。事務的には実施に向けて動いている。



都市計画道路工事中の交通安全は守られるのか？

幼稚園等の現状と今後のあり方を問う

答 課題に対し慎重に検討を進めたい

田村 俊二 議員



問 実態評価と課題は。
町長 園児・児童数は減少傾向にある。新たな取り組みによる魅力の発信や場合によっては幼稚園・小学校のあり方の検討も必要であると考えている。
町長 教育内容の平準化は。園・小学校は、活性化のため差別化を図っている。

問 道路は町と協議し、
町長 道路は町と協議し、

平準化のメリットとも合わせ今後検討すべきものと考えている。
問 「幼保一元化」の検討状況は。
町長 保育園の待機児童、幼稚園児数の減少を受け、副町長を座長に教育長、教育総務課、子育て健康課で認定こども園への移行等を含め検討を行っている。



児童数が他2校に比べ突出している大井小学校

大手事業所によって築造された。緊急車両通行の利便性、地域生活の貢献、既存アパートの接道、公園への進入路確保等を勘案し道路認定した。
問 地域住民への周知は。
町長 地域住民等との対話を通じて進めたい。
問 住民要望に対応する考えは。
町長 町民からの要望等は可能な限り対応し、人も車も安全に通行できる道路となるよう努めていきたい。

大井町の防災体制について

答 締結の遅れている協定は早急に協議し取り交わす

鈴木 磯美 議員



問 町指定の避難所・避難場所である、「いこいの村あしがら」との協定は。
町長 早急に協議し、締結を交わしたい。
問 防災倉庫の備蓄内容は適切か。
町長 備蓄品を充実させ、配置が適材適所となるよう再配置する。
問 自主防災組織との無線訓練内容を見直す考えは。
町長 繰り返し訓練は継続し、実災害を想定した内容も取り入れていく。
問 防災訓練時の自主防災組織に対する指導・助言は。

町長 初動行動の反復訓練を主眼に置き、訓練効果の底上げができるよう意見交換や情報提供などの機会を設ける。
問 災害時の物資搬送体制を確保するため民間事業者との協定は。
町長 1市5町での連名締結を調整してきたが、今後は町単独での協定締結する。



地元では周知されている
広域ひなん場所「いこいの村あしがら」

結も視野に調整・協議を進める。
問 職員異動時の防災教育の現状は。
町長 4月・10月の異動時には通常業務の研修に合わせ、災害時の部局の体制の在り方も確認し職員個々の知識の習得、技術の向上を図る。
問 自主防災活動推進事業費等補助金は世帯数での補助である、小規模自主防災組織では高額な防災資機材の購入ができない状況にある。対応策は。
町長 資機材の老朽化や新たな資機材整備計画など各自自主防災組織からのご意見・ご要望等を踏まえ、基準の改定等を検討する。

休止や規模縮小に悩む子ども会への町のサポートは

【答】町子連・育成会への助成を通じて子ども会をサポート

田中 正彦 議員



問 各地区の子ども会は入会者が激減し、運営に窮しているが町としてのサポートは。
町長 低加入率は大井町だけの問題ではなく全国的な傾向。少子化や子ども達の選択肢の多様化が主因。今後も従来通り町子連への支援や育成会への助成を通じてサポートして行く。子ども会の活



「路側帯」のラインが消え掛かった狭い道路を通学

動は地域にとっても大切な場だが、存続等については第一義的には地区の人達が考える問題だ。
問 子ども会の問題は町子連がネックになっていると考えるが。

教育長 低加入率の件は教育委員会の課題として捉えている。一方、町子連についての問題意識は共有している。町子連の活動は行事を減らし、今年度も行うが、生涯学習課を中心に町子連をどうして行くかについても引き続き協議して行く。

【交通安全対策】
問 大津市の園児の交通事故をきっかけに町内の交通危険箇所、取り分け通学路の点検を行ったか。

町長 今回の事故に特化した形で点検はしてないが、文科省からの通達に即し、教育委員会では臨時の校長・園長会議で事故防止策等についての情報交換をした。また平成28年度に策定の「大井町通学路交通安全プログラム」に沿って危険箇所の点検を実施している。
問 金手の児童・生徒の通学路になっている町道18号線沿いの「金田堰」の暗渠化を考えているのか。
町長 当該道路は抜け道としての利用で交通量が増加している。また当該水路は農業用水路の為、農業従事者の意見把握をし、通学路安全推進会議での調整、町の財政状況を勘案し検討をして行く。

災害時のSNS活用を考えているか

【答】ヤフー（株）と協定を締結し、準備を進めている。

牧野 一仁 議員



問 ヤフー（株）との提携とはどのようなものか。
防災安全室長 町のホームページなどをヤフーサービス上に掲載し、一般の方に閲覧しやすくなることでホームページへのアクセス集中による繋がりにくさを解消する。

また、大井町が独自に発信する避難情報、支援情報など直接ヤフーを介して閲覧者に発信できるサービスもある。
問 内閣官房IT総合戦略室が発行した「災害対応におけるSNS活用ガイドブック」の中に「SNSで発信された情報を収集する事や住民に対し

情報発信手段として活用することが有効と考えられる」と書かれている。国から何か指示があったか。

防災安全室長 情報の提供程度で特に指示は無いが、LINEなどは発信ツールとしては利用している人の割合も高く非常に有効であろうと考える。

【大井町地球温暖化対策実行計画について】

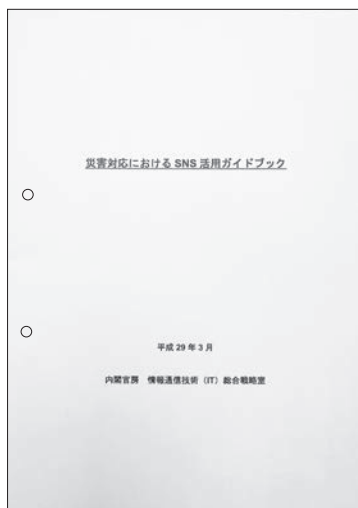
問 町の省エネルギー対

策の推進とはどのような計画か。

生活環境課長 町主要施設の省エネルギー診断を実施し、その結果をもとに設備更新や運用改善を重点的に実施する計画だ。改修・更新の時期に合わせ省エネルギー対策を行う。

問 カーボンマネージメント体制を推進する組織と役割はどのようなものか。

生活環境課長 温室効果ガスを削減するためには具体的な組織として、各課員で構成する大井町環境基本計画ワーキンググループと環境審議会がある。各課、各施設におけるPDCAサイクル運用の検討及び見直しを図る。



内閣官房発行のガイドブック

問 幼児教育の無償化がスタートする事を踏まえ認定こども園の創設を含めた幼保一元化について今後の方向性は。

町長 幼保一元化の内容をより具体的なものにし無償化による需要の増加や待機児童問題への対応を図っていく。無償化による町の財政への影響は非常に大きい。無償化への対応も含め、あり方を示していく。



食品ロス削減の取組みは

答 強化月間に合わせ周知等行う

伊藤 奈穂子 議員

【がん検診の充実】 各種がん検診の受診率アップの方策として対象者全員に個人別に受診勧奨する考えは。

町長 子育て健康課長 来年に向け、まずは無料クーポン券を送っている対象年齢の方に再通知等の検討をする。

【食品ロス削減について】 町民への啓発は。

問 幼稚園・保育所の民営化によって町の財政的負担が減るといふ事例がある。民営化の検討は。

教育総務課長 現在具体的には出ていないが、いずれそういった形を含めた検討になっていく。



環境省食品ロスポータルサイトより

生活環境課長 現在ホームページに「3010運動」と「食べきり運動」また昨年行った食品ロスの調査結果も掲載している。今後ポスター等活用し10月の強化月間に合わせ周知等行っていく。

問 本年開催予定の環境展を活用しフードバンク等に取り組み考えは。

生活環境課長 研究する。

問 学校や幼稚園での食育や環境教育を通じた啓発は。

町長 給食での残食を減らす取り組み等、家庭科や社会科の授業において学習している。また「SDGsアクションプランかながわ」を中学校に配布し理解を深めていく。

町長の考える協働とは

答 並立・対等の立場でお互いに協力し合うこと



熊田 和人 議員

問 町に目を向けてみると主体間の並立・対等性の確保の点から必ずしも対等とはいえない。今年度から、自治会で行っている美化作業でゴミ袋が支給されないと聞いたが、何の説明もなく一方的に通知する手法が町長の言う協働なのか。

町長 70リットルのゴミ袋については、在庫が底をつき、30リットルについてはこれから要望があれば支給する。事前に説明も周知もなく誤解があったことは行政としてやってはいけないと思う。私の考える協働とは、並立・対等の立場

でお互いに協力し合うことである。

問 補助金公募制度について、公募制にそぐわない団体があるように思われるが。

企画財政課長 平成16年度の交付分から、同額申請で一度、審査会には挙げてはいるものの、詳細にわたる審査は受けていない団体もある。公募制にそぐわない可能性もあるので今後検討していきたい。



中学生と地域奉仕活動

【運転免許証自主返納について】

問 返納者の車に代わる移動手段の構築は。

町長 福祉バスのあり方や町全体の地域交通について検討していく必要があると考え、昨年度「大井町地域公共交通会議」を設置した。既存の路線等を見直し、返納者の車に代わる移動手段も含め地域公共交通網を構築したい。

問 大井町の企業にも返納者に特典が受けられるような施策は。

町長 神奈川県で高齢者運転免許自主返納サポート協議会の加盟企業等で特典を受けられる。町商工振興会を通じ加盟を促していきたい。

投票率アップには予算も必要

答 環境を整え、しっかりと前に進める

石井 勲 議員



問 (仮) 大井中央公園事業計画より遅れた理由
町長 公共施設管理者負担金、平成29・30・31年度と支払い変更。県は、支払いが完了しなければ工事着手出来ないという回答、工事期間を令和2年・3年度の2か年と変更、ご理解をお願いしたい。
問 再度設計等の調整は、**町長** 庁内で再検討して、公園実施設計、一部修正もあるかも。

問 公園内に予定する防災関係施設の整備計画は、**町長** 防災機能は、公園整備事業の中で行う①機能付加と②防災部局の防災事業がある。
①では災害時の炊き出しベンチ・マンホールトイレ、一時避難所・救護室・支援拠点や救済物資の仕分け等が出来るあずまやを3か所設置計画。
②としては、防災備蓄倉庫と飲料水兼用耐震性貯留槽を令和3年度施行予定。倉庫の計画規模は、備蓄倉庫スペースを含め、300㎡想定。飲料水兼用耐震貯留槽は地下式を公園内に。いずれも国庫補助の条件に合致した整備の考えている。



期日前投票所風景
投票率アップに向けて対策は

【選挙意識関連】
問 町の選挙投票率が低い。住民意識に対しての見解は。
町長 昨年末の町長選挙の投票率は48%で4年前に比べ10ポイント低下しており大変残念に思う。選挙管理委員会の投票率向上のための施策に対して、予算の確保等で協力していきたいと考えている。
選挙管理委員長 この現状は大変憂慮すべきものである。自らの決断が政治を決めていくのだとの意識付けを手助けすることが重要であると考えている。投票環境の整備と啓発活動の充実に力を注ぎたい。

議会を傍聴して

町職員4人が新採用研修の一環として第2回定例会を傍聴しました。

税務課 小澤 悠希

今回、新採用研修の一環で、大井町議会第2回定例会を傍聴する機会をいただきました。定例会は会議録署名議員の指名、会期の決定、定例監査報告、一般質問などが行われました。中でも印象に残っているのが議員のみなさんが町に対して様々な質問をする一般質問でした。
一般質問は、相和ブランドの創出に関する事、町施設の老朽化に対する対応といった大井町が長期的に取り組んでいかなければならない問題や、昨今ニュースでも取り上げられている高齢ドライバーの免許の自主返納といったタイムリーな問題についてなど幅広い議論がなされていました。数多くの答弁を聞く中で行政を担うにあたって、私たちが果たしていかなければならないことの一つとして「説明責任」があることを改めて感じました。一度始めてしまえば問題なく進んで行ってしまうことでも、その行為を行うことで恩恵を享受する人もいれば損害を受ける人もいると思います。一度最初に説明したから良いのではなく、一つひとつのステップが進むたびに説明を行い、町民の理解を一人でも多くの方から得なければならぬと思いました。そして、これまでの日々の業務の中では目先の業務に集中してしまうことが多かったのですが、今自分がしている仕事は町民の方にどのような影響を与えるのか、どのような行政サービスの役割を果たすことに繋がっていくのかといった部分をより一層意識しながら取り組んでいきたいと改めて思いました。大井町で育ってきた者として、今まで以上に大井町で起こっていることに関心を持ち、一職員として、そして一人の町民として大井町の発展に寄与するとともに、今何が出来るのだろうかという疑問を常に自身に投げかけながら人としても成長できるように懸命に仕事に取り組んでいきたいと思えます。

税務課 廣川 京香

新人採用職員の研修として、大井町議会第2回定例会を傍聴させていただきました。私は今まで一度も議会を傍聴する機会がなかったため、定例会を傍聴するという大変貴重な経験を今回させていただきます。内容は一般質問を中心として進められました。

一般質問は質問に対する通告時間が決められており、一人50〜60分ほどでした。初めは一つの質問に対してこんなに時間をとるのかと思いました。が、実際に質問が始まると、内容一つひとつに徹底的な質疑が進められていました。多くの質疑内容が教育や町の環境を考えることでした。現在起こったニュースを取り上げ、大井町でこのようなことが起こらないようにするために、町道のことが危険ではないか、この修理はいつまでに行うのかという、明確な日時や期間などまで含めた質疑が行われていました。こうした質疑を繰り返して、私たちの教育の場や通学路、日々の生活の安全性が保たれていたことを知りました。目の前の仕事だけを見て業務に取り組むのではなく、本当に町民のために、町民のことを考えて仕事が出ているか、常に考えながらやっていかなければいけないと改めて思いました。

一人の意見や力では思っているも実行に移せません。町民のために何ができるか、議員の方々とこの大井町に暮らしている町民の方々と協力し、自分自身も今まで以上に広い視野で、大井町の発展に尽力したいです。

生活環境課 熊谷 明

新採用職員の研修として、大井町議会第2回定例会を傍聴させていただきました。

1日目の一般質問では町の交通安全対策や子ども教育環境について等、身近な問題が多く題材とされていました。特に私が一番関心を持った内容が「子ども会の今後について」です。全国的に子ども会の参加率が縮小傾向にあり、大井町も例外ではありません。その中で、大井町では解散に追い込まれてしまった単位子ども会もあると聞きました。その要因として子どもの習い事が多様化し、休日に子ども会の行事に参加できる子どもが減少したこと、役員になった時の親の負担があげられていました。子ども会の行事に参加することは、他学年との交流を通して子どもの協調性やコミュニケーション能力を高める一助となると思います。しかし、その成長の場は今や子ども会だけではなく、多様化した習い事、趣味の場にその機会を見出すことができます。子ども会を交流の場として必要としなくなった家庭もある一方で、子ども会を通じて他学年との交流の場を希望する家庭もあると思います。そういった家庭に親の負担を最小限に子どもの交流の場を提案できれば問題解決への糸口になるのではないかと思います。

今回、直接議会を傍聴できたのは大変貴重な経験で、議事録として文書で読むのでは決して味わうことができない議員の熱意を感じることができました。大井町の職員として身を引き締め、大井町の更なる発展の力になりたいと改めて感じました。

地域振興課 谷 明日輝

今回、私は令和元年度新採用職員議会傍聴研修として大井町議会第2回定例会を傍聴しました。普段テレビの中や広報の写真でしか見たことがなかった議会というものを実際に現場で聞くということは初めてだったので、今回のこの機会は私自身にとって大変貴重な体験だと思いました。

通告1番から5番までの一般質問を聞き、内容は「相和ブランドの創出について」や「町の防災体制について」、「安全対策」や「子ども会の今後について」など多岐にわたるものでした。この内容を聞いていく中で最初に感じたことは自身の無知さでした。なぜかという大井町を発展させていくという気持ちとは裏腹にあまりにも把握できていなかった問題が多く、自分の不甲斐なさを実感したからです。しかし、議会はとても緊張感があり、議員の方々の質問をはじめ、町長や課長の答弁を聞いていくと一人ひとりが本当に大井町を良い町にしていこうという熱意を感じ、この議会というものは改めて意味のある重要なものだと思えることができました。また、多くの議員の方々の質問を聞いていく中で情報共有の重要性を学びました。内容によっては、町民と職員の状況把握のギャップというものが大きく生じており、そのギャップを埋めるという意味でもっと積極的にホームページやSNSなどを通して情報を共有する必要を感じました。

私は、今回この議会を通して自身の無知を痛感しましたが、大井町の現状を一つひとつ学習したり、把握したりすることができ、とても充実したものになりました。そして、今後職員として働いていく上でもっと多角的な視点や様々なことに興味を持ち、意識して職務に励み、大井町のさらなる発展に尽力していきたいと思います。

特集 第200号記念

大井町議会だよりの変遷

今回の発行で200号となる議会だより。第1号は、大井町議会が編集者でした。その後、議会だより編集委員会が組織され、平成22年には常任委員会の所管となり、現在に至っています。町の歩みとともに、振り返ってみました。

第1号



昭和43年7月

大井町議会だよりが発刊。

4月 第一生命保険相互会社が事業開始

町の歩み



第130号



平成14年2月

表紙、裏表紙がカラーになる。

4月 大井第二、相和幼稚園3年保育開始

第100号



平成6年8月

B5版からA4版になり、表紙も一新。2色刷りとなる。

4月 生きがい事業団発足

8月 「エキサイティングサマーおおい」を「大井ひょうたんまつり」に改称し開催



第62号

昭和60年2月

表紙を一新 単色刷りとなる。

4月 第1、第2保育園を統合し、坊村に大井保育園を開園



第30号

昭和52年3月

表紙に初めて白黒写真と目次を掲載。

9月 「飲酒運転追放の町」を宣言



第155号

平成20年5月

表紙のひょうたんデザインを変更。「ちょっと紹介」を「町のこの人あの人」にして掲載。

4月 現在の学校給食センター開設



第147号

平成18年8月

名称を「ひょうたん」に変更。「ちょっと紹介」コーナー始まる。

町政50周年

10月 45年ぶりに消防団第2分団復活

● 町のこの人あの人 ●

相和地区の活性化を目指して



山田地区

瀬戸 勇 さん

一般社団法人「神奈川大井の里体験観光協会」が本年3月29日に設立された。その事務局長に就任した瀬戸勇さんを紹介する。

▼法人設立の経緯

相和地区においては世帯数及び人口の減少、少子高齢化による耕作放棄地の増大、独居老人世帯の増加など地区の活性化が急務とされており、当該地区にあつては町の重点施策に沿って地区内住民主導の「ゆめおい体験塾」「田圃の会」「そうわ蕎麦の会」「炭焼き

の会」「高尾棚田の会」「ゆめの里育て隊」JA主導の農業塾等が地区の活性化に向けてそれぞれ活動し、相和活性化委員会・検討部会からは「相和盛り上げ協議会」が結成された。瀬戸さんは「ゆめおい体験塾・そうわ蕎麦の会・農業塾」に参画しており、現在は一昨年からの体験観光のメニュー作りと自然体験活動指導員（NEALリーダー）の育成、小規模の集客による農業を主とした体験事業を実施しているとのこと。今回法人設立に伴い、

当面は各活動の主体であるNEALリーダーと連携した体験事業や各団体とコラボした集客、8月17・18日にそうわ会館で「そうわ食・体験・工作フェスタ」開催等の仕掛けを模索していると話された。

▼今後の活動

今後は主に観光会社・インターネット等あらゆる媒体を通じて人を集め、農村体験型の観光施策を推進して路線バスなど交通機関の充実、現金収入の確保、若い世代のＩＴ等活性化の速度を上

げていきたいと語る。2年後には2〜300名規模の中学、高校生の修学旅行生を相和地区に誘致するため、本年10月末まで民泊家庭80戸確保を目標に地元説明会等を実施しているとのこと。これは旅行会社が修学旅行を学校に提案するためには実施2年前からの期間が必要とされているためだそう。最後にこの事業に関心のある方、特に地区外であっても民泊家庭をして頂ける方はご協力をお願いしたいと話された。



そうわ蕎麦の会での活動風景

町政を知る良い機会です

議会傍聴にお越しく下さい

9月5日(木)午前9時 第3回定例会開催

問合せ先：議会事務局 ☎85-5000 FAX85-3936

編集後記

議会だより二〇〇号の発行にあたり、初刊「昭和四十三年七月」に発刊された第一号から現在までの歩みを回顧することが出来た。

表紙の役割・文書構成・内容の充実など、議会だよりの役割りの重要性を再認識すると共に広報常任委員会として「町村議会広報クリニク」等を受講し、編集の知識の向上を図り、読者の町民の皆様に愛読される議会だよりの編集に努めることは勿論、読者の方々からのご意見を頂きながらより良い紙面作りが出来るよう努力していきます。

瀬戸 和雄

広報常任委員会

委員長	伊藤奈穂子
副委員長	田村 俊二
委員	石井 勲
委員	瀬戸 和雄
委員	曾根田 徹
委員	清水 亜樹
委員	牧野 一仁